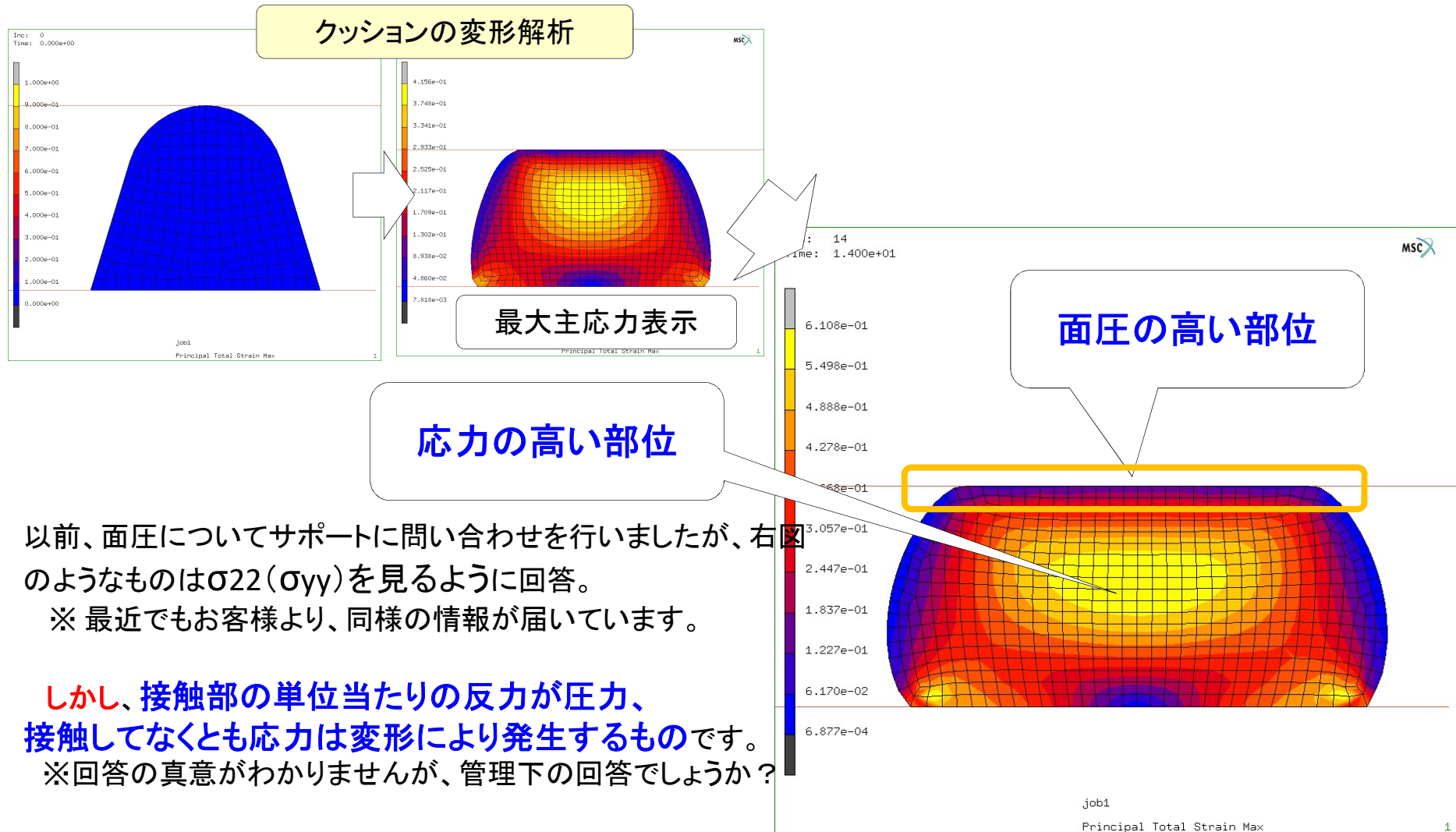


応力と圧力、摩擦の関係について

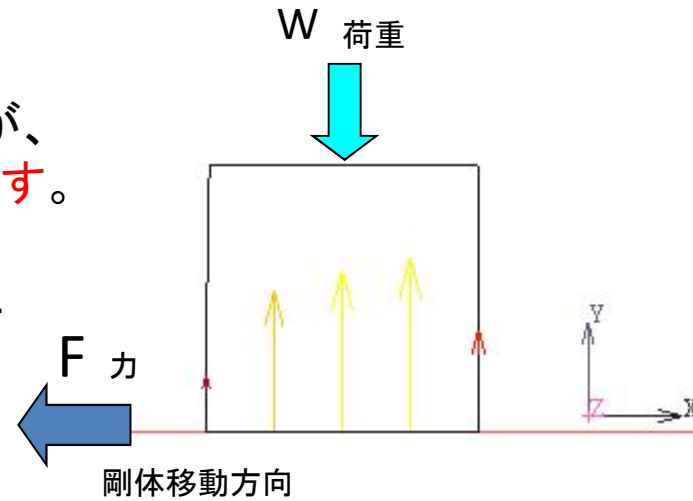
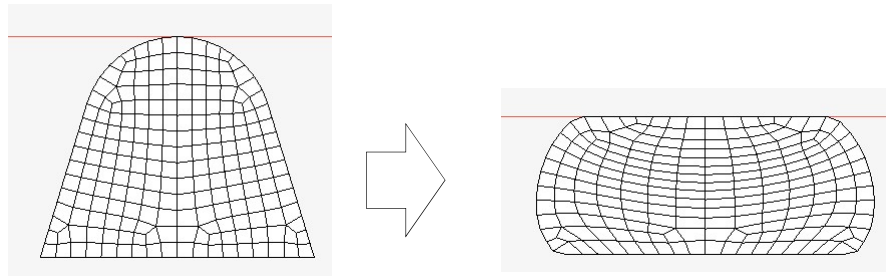
変形に伴う摩擦、応力の関係は非常に重要ですが、面白い面もあります。
ゴムの摩擦は測定法の定番が無いようで、様々な方法で測定されているようです。



摩擦とは

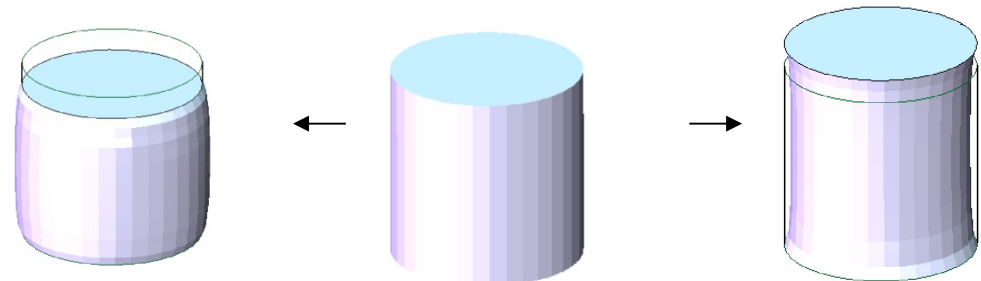
摩擦は、簡単なモデルで確認できます。
右の図を、 $F = \mu W$ の関係であらわされますが、
ソフトによって正しく機能していないものもあります。

前ページに示すクッションのようなものは摩擦に
反力 & 変形はあまり影響されません。



次に示すディスクのような変形解析で、摩擦に影響されます。
最近のトライで、認識が変わりました。(解析は、上下接着タイプとして滑らない設定)

摩擦の圧力依存性による、ゴムの摩擦係数は1以上を示すものですが
やすりを挟んだ実験でも、摩擦が
0.2~0.5程度しか効いていない
ように感じています。
(結論に向けて検討中です)



不明な点は、何でも気軽にお尋ねください。

寺子屋 hagi@terakoya2018.com

オンサイトでの講習会 製造業での実績多数

- I 超弾性材料の解析用データベース作成方法 ¥35,000- (税別 5 H)
- II ゴム・樹脂製品の解析、スムーズな実用化の方法 ¥35,000-(税別 5 H)
- III ゴムの耐久性を考える -劣化・経年変化を考慮するには- ¥50,000- (税別3H)

外部委託より社内技術構築、
効率化により開発者自身での解析システム構築しませんか。

寺子屋/CAE解援隊

URL <https://terakoya2018.com>

連絡先 hagi@terakoya2018.com

080-2230-8785